

00

00

設備増設費等に伴う資金需要

一六二五二六 金管庫金費額



要旨

第二次五年計画費率・ヨル既定並新費率ノ完成(備付能力一四四〇
萬圓)ヲA案、目標計畫ノ完成(備付能力一九六九萬圓)ヲB案トシ
其ノ伴フ資金需要ヲ核算スレハ左ノ如ク(單位百萬圓)

A		B	
設備資金	運轉資金	設備資金	運轉資金
設備費	五〇四八	五九五	二四四五
運轉費	五三三四	六四一	五九二〇
其他重工業	七六八九(其〇〇〇)一〇七八九	一七三四九(其〇〇〇)一六八四九	
計	一七八五七	六〇五六	一八九八五
(註)	括弧内ハ假定定数トス		

設備増設費等ニ要スル資金

設備費率自體ノ建設並運轉資金トシテハ第一案ノ計畫ニ示サレル如

A 案 一六四四七七九〇千圓
B 案 一八八八五六四〇千圓

原料増設ノ設備資金トシテハ第二案ニ示サレル如ク

A 案
投資 四四九七五〇千圓
償還 五三五六二〇
計 七七五三三〇

B 案
投資 一〇〇〇九八〇千圓
償還 七七一五七〇
計 一七一二五五〇

原料増設費等並設備費トシテハ第三案ニ示サレル如ク

A 案
投資 五一八〇〇〇千圓
償還 一八五三〇〇
計 三〇二七〇〇

B 案
投資 五七九〇〇〇千圓
償還 三六五三〇〇
計 九四四三〇〇



以上(四)合計

A 案

B 案

五六一九六四〇千圓 七一四一五九〇千圓
ハ鐵鋼増産ニ伴ヒ一次的ニ所要セラルル資金ナリ
ニ鐵鋼消化ニ要スル資金

増産サレタル鐵鋼ハ一部ハ素材ノ儘ニテ消費セラルルモ、大部分ノ
モノハ機械造船其他ノ鐵鋼加工産業ニ於テ加工製品ニ變形サレサル
ヘカラサルヲ以テ、鐵鋼ノ増産ニ比例シテ加工産業ノ設備擴充カ必
要ナリ

(四)加工産業ノ建設資金

第四案ニヨレハ加工産業カ略ホ全操業狀態ニ入りシ昭和八年以降
十二年迄ハ加工産業ノ拂込資本ノ増加ト其ノ鋼材消費ノ増加トノ
間ニハ略ホ一定ノ關係アルコトヲ推知シ得ヘシ。之ハ加工産業カ
資本ノ増加ニヨツテ設備ノ擴充ヲ行ヒ鋼材消費ヲ増加セシメタル
カ爲ナリ

今昭和九一十二年ニ於ケル加工産業ノ鋼材使用増加適當リ拂込資
本ノ増加ヲ計算スレハ、第五案(A)ニヨリ約一〇〇〇圓トナル。之
ハ直チニ鋼材一應ヲ加工スルニ必要ナ設備ノ建設費ト見做スヲ得
ヘシ

更ニ第六案ニヨリ鋼材増産分ノウチ六六五(A案)乃至六〇五(B
案)カ加工サルルモノト假定スレハ、加工産業ノ建設資金ハ第七
案ニヨリ

A 案

B 案

五三三三〇〇〇千圓

五二二六〇〇〇千圓

ト計算サル

(四)加工産業ノ運轉資金

第五案(A)ニヨリ加工産業ニ於テハ使用サレタ鋼材一應ニ對シ約一
三〇〇圓ノ製品カ生産サレル計算トナルヲ以テ第七案(B)ニ使ツテ
増設設備ニ對スル運轉資金ハ

A 案

B 案

五三三三〇〇〇千圓

五九一六〇〇〇千圓

トナル

以上(四)ノ合計



A 案

五、六、九、五、〇、〇、千圓

B 案

九、一、四、六、〇、〇、千圓

ハ鐵鋼加工産業ノ建設並ニ運轉資金ニシテ、鐵鋼増産ニ伴ヒ第二
次ノニ所要セラルルモノナリ

又其他重工業ノ建設ニ要スル資金

上述ノ鐵鋼及鐵鋼加工部門擴充ニ關シテ其他ノ各重工業部門カ何程
ノ擴充ヲ要スルヤヲ推定スルハ甚々困難ニシテ、正確ニハ各部門毎
ニ技術的ナ檢討ヲ行ハサルヘカラス。然レトモ之ニ對シテ大體
ニノ計算ヲ行ヘハ左ノ如シ

昭和八年ヨリ十三年ニ測ル期間ヲ重工業擴充ニ關シテアルモ
ノト見、其ノ期間ニ於ケル拂込資本ノ増加ハ當該産業ノ設備擴
充ナリト考ヘ、鐵鋼器具工價ノ拂込資本ノ増加額ヲ一〇〇ト
スル各産業ノ拂込資本増加額ノ推定ヲ求ムレハ、其ノ推定ハ鐵
鋼器具工業ノ一定ノ擴充ニ對應スル各産業ノ擴充費ト見做スヲ
得ヘシ。今二例ニヨル加工産業ノ建設資金ヲ之ニ當該メテ重工
業ノ擴充費ヲ求ムレハ、第八表ノ計算ニヨリ

A 案

五、六、八、九、百圓

B 案

一、四、五、四、九、百圓

鐵鋼加工産業ノ建設資金

八、六、六

一、五、九、〇

ヲ得ヘシ。之ニ相當ノ運轉資金ヲ加ヘタルモノカ、鐵鋼、機械
以外ノ重工業ノ建設並ニ運轉資金ニシテ、鐵鋼増産ニ伴ヒ第三表
的ニ所要セラルル資金ナリ



第一表

建設用資金

	設備能力 (千題)			建設費 (千圓)
	錠	鋼	鋼材	
十六年度本能力	7,388	10,077	9,641	
既定計畫	672	1,547	1,530	359,110
新規計畫	5,477	5,250	5,430	1,689,200
小計	13,537	14,874	14,401	2,048,310 (A)
二次計畫	5,385	7,665	5,292	2,140,530
合計 (目標)	18,920	22,539	19,693	4,188,840 (B)

(建設資金 内訳)

日 鐵 八 幡 輪 西 廣 畑 清 津 日 本 小 倉 住 友 本 和 支 那 漢 B 工 場 計	既定計畫	新規計畫	二次計畫	製銑設備年産題當り 180 製鋼 " 70 壓延 " 120 トシテ計算 製銑 968,940 製鋼 536,550 壓延 635,040
	52,240	277,700	製銑設備年産題當り 180	
70,360	28,400	製鋼 " 70		
45,510	271,700	壓延 " 120		
10,000	237,000			
	59,000			
	16,000			
51,000	112,400			
100,000	297,000			
30,000	20,000			
	370,000			
計	359,110	1,689,200	2,140,530	

繰越資金

	A 案 (70%)千題	B 案 千題
鋼材生産目標	10,081	13,860
十六年度生産	5,150	5,150
鋼材生産増加	4,931	8,710
鋼材平均原價	200 圓	200 圓
年間,總生産原價	986,200 千圓	1,742,000 千圓
運轉率	2.5	2.5
所要運轉資金	394,480 千圓 (A)	696,800 (B)

建設並運轉資金

A 案 - (A) + (A') = 2,442,790 千圓

B 案 - (B) + (B') = 4,885,640



第二表

(1) 石炭増産資金

	A 案		B 案	
	鉄(85%) 千題	鋼(90%) 千題	鉄 千題	鋼 千題
鐵鋼生産目標	11,506	13,337	17,700	20,870
十六年度生産	6,242	7,808	6,242	7,808
増産高	5,264	5,529	11,458	13,062
應當り所要石炭	2	0.8	2	0.8
所要増産石炭	10,528	4,465	22,916	10,450
所要増産石炭計	14,991		33,366	
石炭應當り増産費	30		30	
所要石炭増産費	449,750		110,000,000	

(所要石炭 内譯)

	A 案 (千題)				B 案 (千題)			
	日本	滿洲	支那	計	日本	滿洲	支那	計
所要石炭合計	25,157	6,723	1,842	33,722	27,800	12,136	12,160	52,096
十六年度所要	15,194	3,396	140	18,730	15,194	3,396	140	18,730
増産所要量	9,963	3,327	1,702	14,991	12,606	8,740	12,020	33,366

(2) 鐵石増産資金

	A 案		B 案	
	鉄 千題	鋼 千題	鉄 千題	鋼 千題
鐵鋼増産高	5,264	5,579	11,458	13,062
應當り所要鐵石	1.85	0.2	1.85	0.2
所要増産鐵石	9,738	1,116	21,197	2,612
所要増産鐵石合計	10,854		23,809	
鐵石應當り増産費	30		30	
所要鐵石増産費	325,620		714,270	

(所要鐵石 内譯)

	A 案 (千題)				B 案 (千題)			
	日本	滿洲	支那	計	日本	滿洲	支那	計
所要鐵石計	17,156	5,103	1,704	23,963	19,100	8,839	8,980	36,919
十六年度所要	10,187	2,793	130	13,110	10,187	2,793	130	13,110
増産所要量	6,969	2,310	1,574	10,854	8,913	6,046	8,850	23,809

第 三 表

(1) 石炭運搬用船舶建造費

	A 案	B 案
石炭需要増加(日本)	9,963	12,606 千應
本船ヲ必要トセザル需要	2,015 (輪西及青津)	2,500 (推定)
本船ヲ必要トスル需要	7,948	10,106
平均所要一航海日	20 日	20 日
所要船腹	436 千應	554 千應
應當り建造費	500 圓	500 圓
所要建造費	218,000 千圓	277,000 千圓

(註) 石炭増産ハ北海道, 樺太, 滿洲, 北支ニ重點ヲ置クモノトス

(2) 鐵石運搬用船舶建造費

	A 案	B 案
鐵石需要増加(日本)	6,969 千應	8,913 千應
本船ヲ必要トセザル需要	2,500	2,500
本船ヲ必要トスル需要	4,469	6,413
平均所要一航海日	30 日	30 日
所要船腹	367 千應	527 千應
應當り建造費	500 圓	500 圓
所要建造費	183,500 千圓	263,500 千圓

(註) 鐵礦石ノ日本ニ於ケル増産ヲ内地 1,000 千應, 朝鮮 1,500 千應トシ
何レモ陸送ニヨリ現地使用サレルモノトス

第四表 (25)



第五表

(1) 鐵鋼加工部門ノ拂込資本

	昭和8年末	昭和12年末	差引増加高
機械器具工業(含造船業)	555,424千圓	1,311,471千圓	756,047千圓
金屬工業中			
鑄物以外ノ金屬製品製造業	36,223	87,607	51,384
其ノ他ノ金屬工業	5,933	25,143	19,210
計	597,580	1,424,221	826,641

鋼材消費

	昭和8年末	昭和12年末	差引増加高
機械鐵工業	1,009,207 應	1,255,501 應	246,294 應
造船	275,332	755,363	480,031
計	1,284,539	2,010,864	726,325

昭和9年~12年ニ於ケル鋼材使用増加一應當リ拂込資本ノ増加 $\frac{826,641 \text{ 千圓}}{726,325 \text{ 應}} = 1.138 \text{ 圓}$

(2) 鐵鋼加工部門ノ生産額

昭和	生産額			機械鐵工業及 使用鋼材 造船業ノ鋼材 應當リ 使用 高生産額	
	機械器具工業 (含造船業)	(金屬工業中) 鑄物以外ノ金 屬製品製造業	計	千圓	應
9年	1,147,800千圓	217,403千圓	1,365,203	1,332,616	1024圓
10年	1,462,540	265,621	1,728,161	1,410,997	1225
11年	1,716,355	329,439	2,045,792	1,453,170	1409
12年	2,557,208	469,207	3,026,409	2,010,864	1505
13年	3,821,881	619,854	4,441,735	1,606,157	2765

(註) 鋼材消費ハ一製鐵業參考資料ニヨル

昭和13年以來機械及造船ノ鋼材使用高ガ激減セルハ切符制ノ施行ニヨリ軍需ガ「其他」ノ分類ニ入レラレシ等ノ事情ニヨル

拂込資本ハ商工省ノ「會社統計表」ニヨル

同表中ノ「鑄物以外ノ金屬製品製造業」ハボルト、ナツト、スパイキ、座金、釘、鉄、針、連鎖、鋼索、スプリング、金網、罐類、バケツ、建築金具、洋傘骨等ノ外、若干ノ非鐵金屬製ノ器具ヲモ含ム
其ノ他ノ金屬工業ハ建物、鐵塔、橋梁、煙突、タンク等ノ組立用鐵骨、鐵板ノ加工、金屬ノ切削、壓剪、壓穿、熔接、切斷、鍍付、色付、印刷、腐蝕、彫刻、研磨等ヲ含ム

生産額ハ商工省ノ「工場統計」ニヨル

同表中ノ「鑄物以外ノ金屬製品製造業」ハボルト、ナツト、ワツシャー、リベット、釘、針、連鎖、鋼索、接條、金網、ブリキ罐、板製品、建築用金具、家具類、建築橋梁鐵塔等ノ建設材料、金屬器、ペン先、洋傘骨、玩具等ヲ含ム

第六表

普通壓延鋼材消費部門別消費狀態

	千 噸		%	
	14年	15年	14年	15年
官 廳 (含軍需)	1,311.6	1,381.2	30.8	36.1
公共團體	52.5	40.3	1.2	1.1
鐵 道	200.5	193.4	4.7	5.1
造 船	198.7	196.3	4.7	5.1
機 械	1,548.4	1,221.1	36.4	32.0
土 木	212.1	139.5	5.1	3.7
製 鐵	397.4	300.4	9.3	7.9
金屬工業	-	50.4	-	1.3
輕金屬	-	15.0	-	0.4
石炭鑛業	121.3	77.2	2.9	2.0
石 油	71.7	40.3	1.7	1.1
人造石油	-	15.0	-	0.4
電 氣	38.1	46.8	0.9	1.2
瓦 斯	21.3	12.5	0.5	0.3
化 學	37.6	31.3	0.9	0.8
其 他	41.2	59.0	1.0	1.5
合 計	4,253.0	3,820.4	100.0	100.0

消費部門別消費割合ノ豫想

軍需	A 案 40%	機械 26% 素材 14%	B 案 30%	機械 20% 素材 10%
機械造船	40%		40%	
其他(素材)	20%		30%	
計		機械 66% 素材 34%		60% 40%

第七表

(1) 加工部門ノ建設資金

	A案	B案
鋼材生産増加	4,931千圓	8,710千圓
加工部門ニ使用サルベキ%	66%	60%
數量	3,254千圓	5,226千圓
加工設備建設費(鋼材適當リ)	1,000圓	1,000圓
總額	3,254,000千圓	5,226,000千圓

(2) 加工部門ノ運轉資金

加工部門ニ使用サルベキ 鋼材數量	3,254千圓	5,226千圓
鋼材適當リ加工製品價額	1,500圓	1,500圓
加工製品總價額	4,881,000千圓	7,839,000千圓
加工產業ノ廻轉率	2.0	2.0
所要運轉資金	2,440,500千圓	3,919,500千圓

(3) 加工部門ノ建設並運轉資金

$$\begin{cases} \text{A案 } A' + B' = 5,694,500 \text{ 千圓} \\ \text{B案 } B' + B'' = 9,145,500 \text{ 千圓} \end{cases}$$

(4) 消費部門ノ資金需要

	A案	B案
加工製品ノ購入費	4,881,000千圓	7,839,000千圓
素材トシテ使用サルベキ 鋼材數量	1,677千圓	3,484千圓
鋼材適當リ平均價額	240圓	240圓
素材ノ購入費	402,480千圓	836,160千圓
合計	5,283,480千圓	8,675,160千圓



第八表

	拂込資本		増加額	機械器具100対スル指数	設備建設費	
	昭和八年末	昭和十三年末			A案	B案
鐵鋼業	344,712	589,480	244,768	17.4		
機械器具工業	597,580	1,999,992	1,402,412	100.0	3,254	5,226
鑛業	714,381	1,848,360	1,133,979	80.8	2,629	4,223
(内石炭業)	(277,810)	(672,997)	(395,187)	(28.1)	(914)	(1,469)
金屬工業(鐵鋼ヲ除ク)	46,620	508,915	462,295	32.9	1,071	1,719
化學工業	656,526	1,769,243	1,112,717	79.3	2,580	4,144
窯業	196,760	334,957	138,197	9.8	319	512
瓦斯・電氣・水道業	2,236,310	2,706,632	470,322	33.5	1,090	1,751
(内電氣業)	(1,998,967)	(2,462,167)	(463,200)	(33.0)	(1,074)	(1,725)
運輸業	1,522,180	1,895,583	373,403	26.6	866	1,390

(註) 商工省ノ「會社統計表」ヲ加工作成
 鐵鋼業—昭和八年ノ拂込資本中ニハ八幡製鐵所國有財産ヲ加算
 機械器具工業—「鑛物以外ノ金屬製品製造業」及「其他金屬工業」ヲ加フ
 金屬工業—「鑛物以外ノ金屬製品製造業」及「其他金屬工業」ヲ除ク
 鐵鋼業ノ拂込資本ヲ推定シテ除ク(民間ノミ)
 化學工業—人絹工業ヲ除ク

鑛業	}	7,689	百方圓	12,349	百方圓
金屬					
化學					
窯業					
瓦電水					
運輸	866	1,390			

